

第 25 回全国聴覚言語障害者福祉研究交流集会

ごあんない



2021年12月1日(水)~12日(日)

《インターネット視聴》12月 1日(水)~12日(日)

《オンライン分科会》12月11日(土)・12日(日)

集会専用ホームページは右のQRコードから⇒



ごあいさつ

「重度重複の聴覚障害児・者と高齢聴覚障害者の発達と権利を考える」のテーマで行われるこの集会では、私たちの「困っていること」と向き合い、「困らせているもの」を一つひとつなくしていく実践や研究を全国のなかまと共有するとともに、権利が保障される社会の実現を目的としています。

前年度の兵庫集会は、新型コロナウイルスの感染拡大により中止を余儀なくされましたが、「コロナ禍で分断された人と人とのつながりを回復したい」「全国のなかまの想いをつなげたい」「きずなを確かなものにしたい」という多くの想いを形にするために、私たちは新しい開催方法「インターネットによる視聴とオンライン分科会」にチャレンジします。

どこでも誰でも参加できるこの機会に、ぜひご参加ください。多くのつながりをつくり、お互いが元気になれるこの集会を、未来を切り開くきっかけにするために、全国のなかまと心をつなげて共に歩んでいきましょう。

皆さまのご参加を主催者一同、心よりお待ちしております。

第25回 全国聴覚言語障害者福祉研究交流集会 ～重度重複の聴覚障害児・者と高齢聴覚障害者の発達と権利を考える～ 開催要項

1. 開催主旨

この集会は、1985年「いこいの村の仲間と働き学ぶ、夏のつどい～重複・重度の聴覚障害(児)者の発達と権利を考える集会」から始まり、1996年から全国聴覚言語障害者福祉研究交流集会として発展し、今年で25年目を迎えます。

当事者、家族、支援者らがお互いの実践や思いを持ち寄り、学びあう中で、当事者がおかれてきた厳しい実態を明らかにし、制度の課題や支援のあり方を深めあう中で、子どもから高齢者まで、「ひとりぼっちの障害者をなくしていこう」と、全国の施設づくりの運動を励まし、その裾野を広げてきました。

その片方で障害者の強制不妊手術をめぐる国家賠償訴訟はその請求が次々と棄却され続けています。また、大阪府立生野聴覚支援学校生徒が被害に遭った交通事故をめぐる民事裁判では加害者側が「(被害女兒の)将来得られたはずの収入である逸失利益について、一般女性の40%で計算すべきだ」と主張し、ご両親の怒り、悲しみは全国に広がっています。「優生思想」はこの日本の社会にはびこる障害者への差別や偏見を助長し、様々な場面で形を変えてその姿を現します。だからこそ私たちは、その「根っこ」としっかりと向かい合いながら、それぞれの地域で生き生きとして暮らすなかまの姿、支える実践と未来を豊かに語りあいたいと思います。

本集会は、下記のこの3つの柱を目的として、開催します。

- ①事業所等における支援実践を持ち寄り、聴覚障害児・者福祉を前進させます
- ②聴覚障害児・者の生活や発達の要求を掘り起こし、新たに事業所等の創設を進めている地域での公的責任に基づく取り組みやその地域関係者を励まします
- ③聴覚障害児、重複障害者、高齢聴覚障害者・難聴者・中途失聴者の障害や実態、支援の特性を踏まえた制度づくりにむけた問題提起と制度改善に取り組みます

2. コンセプト

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により事業や運動に大きな影響を受けてきました。ワクチン接種等感染対策も進められていますが、収束は見通せないため、インターネットでの映像配信及び、オンラインでの分科会による集会を開催します。本集会ではコロナ禍で分断された人と人とのつながりの回復を目指し、多くの関係者、支援者の参加を呼びかけ、京都集会の成功が次の集会の発展につながるよう取り組みます。

3. 主催

社会福祉法人 京都聴覚言語障害者福祉協会

4. 共催

社会福祉法人 埼玉聴覚障害者福祉会
社会福祉法人 東京聴覚障害者福祉事業協会
社会福祉法人 大阪聴覚障害者福祉会
社会福祉法人 ひょうご聴覚障害者福祉事業協会
全国ろう重複児・者家族連絡会

5. 協力(予定)

社会福祉法人 滋賀県聴覚障害者福祉協会
社会福祉法人 千葉県聴覚障害者協会
特定非営利活動法人つくし
京都聴覚言語障害者の豊かな暮らしを築くネットワーク

6. 後援(予定)

厚生労働省／(一財)全日本ろうあ連盟／(一社)全日本難聴者・中途失聴者団体連合会／(一社)全国手話通訳問題研究会／(社福)全国盲ろう者協会／(一社)日本手話通訳士協会／全国障害者問題研究会／(社福)全国手話研修センター／社会福祉法人きょうされん／障害者の生活と権利を守る全国連絡協議会／全国ろう重複障害者施設連絡協議会／全国高齢聴覚障害者福祉施設協議会／(特非)全国聴覚障害者情報提供施設協議会／(特非)ろう教育を考える全国協議会／全国難聴児を持つ親の会／(社福)全国社会福祉協議会

京都府／京都市／京都府市長会／京都府町村会／京都府教育委員会／京都市教育委員会／(社福)京都府社会福祉協議会／京都障害児者の生活と権利を守る連絡会／京都府耳鼻咽喉科専門医会／(社福)京都市社会福祉協議会／(株)京都新聞社／NHK京都放送局／(株)読売新聞京都総局／(株)毎日新聞京都支局／(株)KBS京都／(株)朝日新聞京都総局／(一社)京都府身体障害者団体連合会／(公財)京都市身体障害者福祉団体連合会

7. 開催期間 2021年12月1日(水)～12日(日)

①インターネット動画配信期間【12月1日(水)～12日(日)】

基調報告・記念講演・特別報告等を事前に収録し、YouTubeで配信します。

期間中は好きな時間に視聴できます。

②オンライン分科会【12月11日(土)・12日(日)】

12月11日に第一、第二、第三分科会を、12月12日に第四分科会と第五分科会をオンラインで開催します。

【分科会の開催方法が例年と異なります。ご注意ください】

重複聴覚障害者や高齢聴覚障害者・聴覚障害児・難聴者・中途失聴者等への実践レポートを募集します。9月末までに提出(レポート提出計画書は8月末締切)のあったレポートをもとに、12月11日・12日にオンラインで行います。第一分科会～第四分科会は司会者・共同研究者・レポート報告者による議論を深めます。第五分科会「家族の願いと家族会」は司会者・共同研究者・地域の選出者等による交流形式で進めます。

参加者は5つの分科会を視聴できます。

集会申込締切後に参加者に①と②の視聴用ID等を掲載した参加証を郵送します。

※コロナの収束が見通せない中で、このような形での開催になることをご承知ください。幅広い立場からの実践レポートの応募を心から呼びかけます。

8. 参加人数 500名

9. 大会参加費(資料・DVD代含む) おひとり5,000円(学生3,000円)

10. 企画内容

《主催挨拶》 社会福祉法人 京都聴覚言語障害者福祉協会 理事長 高田 英一

《基調報告》 社会福祉法人 京都聴覚言語障害者福祉協会

《特別報告》 「ひとりぼっちをなくそう！コロナ禍の聴覚障害者福祉運動とこれから」

一般財団法人 全日本ろうあ連盟 理事長 石野 富志三郎 氏

一般社団法人 全日本難聴者・中途失聴者団体連合会 理事長 新谷 友良 氏

《記念講演》 「私たちはふつうに老いることができない
～親たちの体験から支援のあり方を問い直す～」
日本ケアラー連盟代表理事 児玉 真美 氏



【プロフィール】

1956年生まれ、広島県在住。フリーライター。一般社団法人日本ケアラー連盟代表理事。1987年生まれの長女に重い障害がある。

著書に『海のいる風景—重症心身障害のある子どもの親であるということ』（生活書院 2012年）、『殺す親 殺させられる親—重い障害のある人の親の立場で考える尊厳死・意思決定・地域移行』（生活書院 2019年）、『私たちはふつうに老いることができない—高齢化する障害者家族』（大月書店 2020年）など。

重い障害のある子どもを持つ母親への社会のまなざしや、「よき療育機能・介護機能であり続けるための支援」のあり方にさまざまな疑問を抱えてきました。目からウロコが落ちたのは、英語圏のケアラー支援に出会った時です。本来の支援とは「ケアラーその人が自分の生活や人生を—継続性を失うことなく—生きられるための支援」なのだ初めて知りました。親による介護は子どもがいくつになっても当たり前とみなされがちですが、「障害児者の親（家族）」も「ケアラー」と捉えることによって、「支援を必要とする人」として見えてくるのではないのでしょうか。日本でも「ケアラーその人を支える」というケアラー支援の考え方がもっと広がっていくことを願っています。

《京都聴覚言語障害者団体活動報告》京都聴覚言語障害者の豊かな暮らしを築くネットワーク

《次年度開催地域(東京)からのメッセージ》

《オンライン分科会》12月11日(土)・12日(日)

第一分科会 11日(土)9:30-12:00

「福祉実践と福祉制度のあり方を考える」

- ・共同研究者：石倉 康次（立命館大学産業社会学部教授）
- ・司会：佐藤 喜宣（ふれあいの里どんぐり）

聴覚障害児・者の暮らしを支えていくために、障害者総合支援法や介護保険法など制度が担えない課題を整理し、今後の制度の在り方、取り組みや運動について討論します。

第二分科会 11日(土)13:00-15:30

「発達を支える（労働・発達・こころとからだの健康・集団づくり）」

- ・共同研究者：武居 渡（金沢大学 教授）
- ・司会：今西 永里（いこいの村栗の木寮）

発達、労働、健康、コミュニケーション保障等について各地域・事業所等、様々な立場からの実践を持ちより共通する課題を明らかにし、議論を深めます。

第三分科会 11日(土)16:00-18:30

「地域生活を支える（重複・難聴・放課後デイ・地活）」

- ・共同研究者：渡邊 健二（全国ろう重複障害者施設連絡協議会会長）
- ・司会：中山 宝（たましろの郷施設長）

重複聴覚障害者や聴覚障害児、難聴者、中途失聴者が自由にコミュニケーションを図ることができる社会環境を整えるためには、既存の資源に加えて、新しい社会資源の創出、ネットワークづくりが大切です。どのような資源があれば、地域で豊かに暮らせるのか、また支援体制はどうあるべきか等を考えます。楽しく豊かな暮らしのために工夫されている実践を持ち寄り交流します。

第四分科会 12日(日)9:30-12:00

「高齢期を豊かに支える（在宅支援・施設の暮らしづくり）」

- ・共同研究者：大矢 暹（社会福祉法人ひょうご聴覚障害者福祉事業協会理事長）
- ・司会：施設長 記 由美（いこいの村梅の木寮）

高齢聴覚障害者の「人として」の暮らしには、身体や認知機能の低下への支援だけではなく、安心してコミュニケーション支援を受けられる体制づくり、介護者家族同士の交流、地域社会で利用できる資源の活用や協力が得られるネットワークづくりが不可欠です。施設においては画一的なケアではなく、本人の願いに寄り添い、その人らしい人生を尊重し、生きることを支え、生きる意欲を創出するための援助や介護について実践交流します。

第五分科会 12日(日)13:00-15:30

「家族の願いと家族会」

- ・共同研究者：山口 慎一（全国ろう重複児・者家族連絡会顧問）
- ・司会：山本 規行（家族会副代表）、岡部 和美（家族会副代表）

重複障害児・者の親、家族が抱える悩みや思いを交流し、親・家族の置かれている実態を明らかにします。また、悩みや思いを率直に出し合い共有することで、孤立する家族をなくします。学びを共有し、今後の家族連絡会の在り方や取り組み、明日への希望につなぐ交流をつくります。家族だけでなく家族を支援する関係者の積極的な参加を呼びかけます。（教育関係者・施設や支援センター等で家族の相談にあたっている方、心理カウンセラーなど）

《なかま参加企画「わたしたちの作品展」》※別紙チラシをご参照ください。

1 2. 申し込み締め切り

別紙の参加申し込み用紙にて **9月30日(木)** までにお申し込みください。

1 3. 第一分科会～第四分科会レポート報告申し込み締め切り

別紙のレポート計画書を **8月31日(火)**、レポートを **9月30日(木)** までにご提出ください。



参加申し込み先、問い合わせ先

社会福祉法人 京都聴覚言語障害者福祉協会
第25回全国聴覚言語障害者福祉研究交流集会事務局

専用ホームページは右のQRコードから⇒

〒604-8437

京都市中京区西ノ京東中合町2番地

FAX：075-841-8311 / TEL：075-275-8021

Email：zenfuku-kyoto@kyoto-chogen.or.jp



目で見てわかる

2021 全聴福研 in 京都 第25回

コロナ禍で分断された
人と人とのつながりの
回復を目指し、初の
インターネット開催！

終了後
(1月以降)

7月 8月 9月 10月 11月 12月



一般
参加者

レポート
報告者



申込開始

より良い集會にする
ためにたくさんの人に
参加してほしいな

参加申込締切

締切
8/31

この集會の
成功が次の集會の
発展につながるよ
いな！！

参加証・大会資料 郵送
(レポート)

レポート提出

締切
9/30

分科会打合せ

2021年12月開催期間
事前収録

YouTube 視聴
12月1日(水)~12日(日) 基調講演・記念講演・報告

11日(土)
午前：第一分科会
午後：第二分科会
第三分科会

ZOOMウェビナー

12日(日)
午前：第四分科会
午後：第五分科会

分科会討議
Zoomウェビナーで全国の
参加者に向けて生配信！

報告集 DVD 付き 郵送

YouTube (配信録画) の内容を Zoom (分科会) の内容を収録した DVD付き報告集の届きます！！



いつでも見返して学びを深めたい！！



2021...2022

<問い合わせ先> 第25回全国聴覚言語障害者福祉研究会事務局 社会福祉法人 京都聴覚言語障害者福祉協会
FAX: 075-841-8311 / TEL: 075-275-8021 / Email: zenfuku-kyoto@kyoto-chogen.or.jp

第25回全国聴覚言語障害者福祉研究交流集会 2021 in 京都

コロナを
ふっ飛ばせ!

なかま参加企画

「わたしたちの作品展」大募集!

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、今年の実聴福研はバザーや交流会も実施できず、みんながさみしい気持ちを抱えています。そこで!今回はなかまや生活者の皆さんの作品や施設で頑張っていること、商品や施設紹介などを大募集します!

離れた場所でも心繋がる、いきいきとした作品展をお待ちしています。

＜提出例／イメージ＞ パワーポイント3枚の場合

施設名	写真
施設の紹介文	写真

『作品テーマ』	作品
写真	作者の紹介 作品の説明文

私たちの自慢の商品	写真
紹介、宣伝文	HP QRコード
HP: http://○○○	

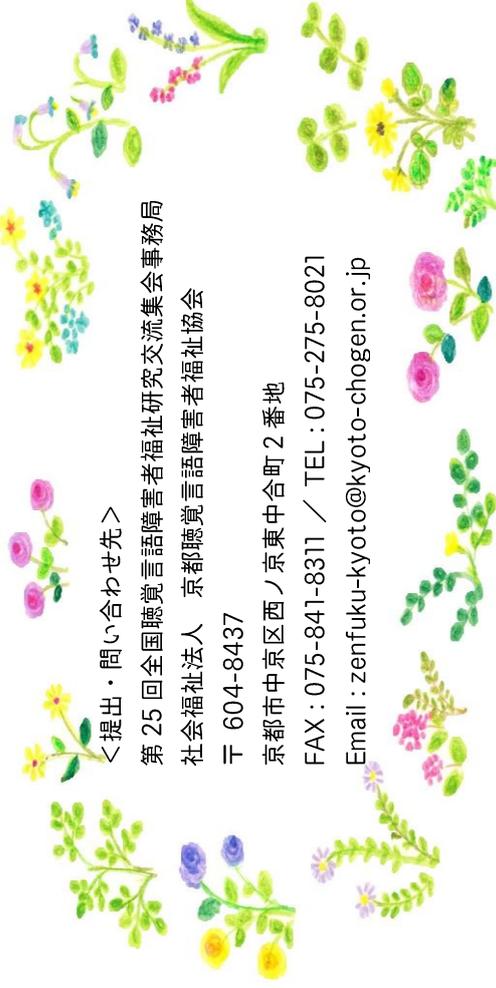
A4サイズ（縦）4ページ以内で作成し、PDFに変換してお送りください。絵や写真、施設や販売商品の紹介、ホームページ等のURLやQRコードを載せるのもOK!

＜提出方法＞

A4サイズ（縦向き）4枚までのPDFデータを、DVDに入れて事務局までお送りください。※いただいたDVDは返却できません。データが重くなるため、メールでの送付希望の方は「ギガファイル便」等の大容量ファイル転送サービスをお使いください。

締め切り：2021年10月30日(土)

作品は全聴福研の開催とあわせてホームページで公開させていただきます。ご不明な点は下記までご連絡ください。



＜提出・問い合わせ先＞

第25回全国聴覚言語障害者福祉研究交流集会事務局
社会福祉法人 京都聴覚言語障害者福祉協会
〒604-8437

京都市中京区西ノ京東中合町2番地

FAX: 075-841-8311 / TEL: 075-275-8021

Email: zenfuku-kyoto@kyoto-chogen.or.jp

第25回全国聴覚言語障害者福祉研究交流集会 レポート提出計画書

※該当する欄に、○及び必要事項をご記入ください。

ふりがな		所属	
氏名			
連絡先 自宅 職場 団体		電話/FAX	
		E-Mail	

提出予定 分科会	第一	福祉実践と福祉制度のあり方を考える	
	第二	発達を支える（労働・発達・こころとからだの健康・集団づくり）	
	第三	地域生活を支える（重複・難聴・放課後デイ・地活）	
	第四	高齢期を豊かに支える（在宅支援・施設の暮らしづくり）	
	第五	家族の願いと家族会	

レポートの題名	
キーワード	
討議したい内容	

レポート提出計画書締切
メールにて
8月31日（火）必着

レポート原稿提出締切
メールにて
9月30日（木）必着

送信先・お問い合わせ先

社会福祉法人 京都聴覚言語障害者福祉協会
第25回全国聴覚言語障害者福祉研究交流集会事務局
〒604-8437 京都市中京区西ノ京東中合町2番地
FAX：075-841-8311／TEL：075-275-8021
Email：zenfuku-kyoto@kyoto-chogen.or.jp

第25回全国聴覚言語障害者福祉研究交流集会in京都 申込書

※該当する欄に、必要なところに「○」及び、必要事項をご記入ください。

ふりがな		性別	男性	区 分	
氏 名			女性		聴覚障害者
					健聴者
					盲ろう者
				ろう重複障害者	
住 所	〒			重複する障害	
TEL			FAX		

盲ろう者向け通訳・介助者の手配は集會事務局では準備できかねます。各自で地元の行政や派遣実施事業所と相談してください。
どうしても確保が困難な場合は事務局にご相談ください。

平日昼間の連絡先 (TEL・FAX・Email)	
--------------------------	--

所 属 / 学 校 名	職 種	役 職 名
() 聴障団体関係・() 手話関係者・() 施設関係者・() 家族関係者・() 学生・() その他		

※該当する欄（『一般視聴』『レポート報告』）に「○」をご記入ください。

なお、申込書提出後の変更（『一般視聴』の参加の有無）の連絡は不要です。

【視聴可能期間中、YouTubeで一般視聴（参加）できます】

全体会	全体会	視聴可能期間	一般視聴
	基調報告・記念講演・特別報告・京都団体報告	12/1(水) 9:00 ~ 12/12 (日) 23:59	

【分科会は開催日にリアルタイムで一般視聴（参加）できます】 ※一般視聴を希望される分科会すべてに○を記入してください ↓

分 科 会	分科会		開催日	時間	レポート報告	一般視聴
	第一	「福祉実践と福祉制度のあり方を考える」		12/11(土)	9:30-12:00	
第二	「発達を支える（労働・発達・こころとからだの健康・集団づくり）」		13:00-15:30			
第三	「地域生活を支える（重複・難聴・放課後デイ・地活）」		16:00-18:30			
第四	「高齢期を豊かに支える（在宅支援・施設の暮らしづくり）」		12/12 (日)	9:30-12:00		
第五	「家族の願いと家族会」			13:00-15:30		

参加費		
	参加費	5,000 円
	学生参加費	3,000 円

※お振込み後の返金は、原則お受けできません。

あらかじめご了承ください。

事務局使用欄 (処理日・印)	
番 号	受 付
入 力	受 領

※申込書を事務局までご返送ください。

FAX (075) 841-8311

E-mail zenfuku-kyoto@kyoto-chogen.or.jp

※参加費を郵便振替にて**10/15 (金) まで**にご入金ください。

※振り込み人と申込者が別の場合、または2名以上まとめて振り込みをされる場合は、別途、FAXまたはメールでお知らせください。

ゆうちょ銀行からの振り込み先

口座番号 00930-5-226772

他銀行からの振り込み先

店名 ○九九 (ゼロキユウキユウ) 店

種目 当座

口座番号 00930-5-226772

加入者名 全国聴覚言語障害者福祉研究交流集會

※お申込みにあたり、ご提出いただいた個人情報等は、適正な範囲で使用させていただきます。

第	25	回	全	国
聴	覚	言	語	障
害	者	福	祉	研
究	交	流	集	会

集会専用ホームページは
こちらの QR コードから⇒



社会福祉法人 京都聴覚言語障害者福祉協会
第 25 回全国聴覚言語障害者福祉研究交流集会事務局

〒604-8437

京都市中京区西ノ京東中合町 2 番地

FAX : 075-841-8311 / TEL : 075-275-8021

Email : zenfuku-kyoto@kyoto-chogen.or.jp